

# ひふみのあゆみ 2010年7月2日号

ひふみ投信 2010年6月度 ご報告書

レオス・キャピタルワークス株式会社  
金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第1151号  
加入協会: 社団法人投資信託協会  
社団法人日本証券投資顧問業協会



運用責任者から皆さまへのメッセージならびに2010年6月の運用状況などをご報告いたします。

## 運用責任者からお客様へ

### ◆ 6月の投資環境(株式市場等での出来事)について

6月の株式市場は前月に引き続き海外要因に振り回される展開となり、月末の日経平均株価は前月より3.95%安  
い9,382.64円まで下落し、終値ベースで年初来安値を更新しました。

月初は鳩山首相が辞任する政局混乱で始まり、その後円安論者の菅新首相就任が好感される場面もありました  
が、欧州諸国の財政問題が依然懸念される中、米国の雇用統計が予想外に悪化したことが嫌気され、9日には一  
時9,300円台まで再び反落しました。その後は世界的に良好な経済統計の発表が相次いだことが好感され、16日  
には1万円台を回復するまで反発しました。さらに、中国が人民元の弾力性を拡大することを19日に発表(2008年7  
月から事実上米ドルに固定してきた人民元相場の変動を再び認める)すると、元高に伴う中国の購買力拡大や追  
加金融引締め懸念の後退から、日経平均株価も1万円を値固めする動きとなりました。

しかし、月の後半にかけて、世界的に景気の先行きに不透明感がひろがりました。景気回復期待の高い米国で雇  
用統計に続いて住宅指標やGDP(国内総生産)等の経済指標が予想を下回り、また欧州ではユーロ圏の財政不安  
とその払拭に向けた財政赤字削減への政府取組みが景気回復を鈍化させると懸念され始めました。さらには世界  
景気を牽引している中国でも景気減速懸念が高まり、その結果、安全資産としての側面から先進国を中心に国債  
や円が買われ、長期債の利回り低下(債券価格の上昇)と円高が進行し、株式市場の売買高は閑散となりました。  
輸出依存度の高い企業が多い日本では、こうした世界的な景気鈍化と円高の企業業績に与える影響が懸念されま  
した。

### ◆ 6月の「ひふみ投信」の運用ならびに今後について

(運用や見直しについては、市場動向等の変化によって、変更することがあります)

6月は、低調に推移した市場動向を踏まえ、また相場の反転シナリオもある程度考えながら、ポートフォリオ(ファン  
ドの中身)を守備的に構築しつつも、相場が反転したときにはそれ以上に上昇してくれる可能性のある攻撃的な  
銘柄を新たに組み入れています。

ファンドマネージャーの仕事は「ファンドの中身をどのように構成するのか」という組合せの妙を作ることにあります。  
最近話題のサッカーに例えると、布陣をどう考えるのか、という話と似ています。相手が強豪国で強烈な攻撃が持ち  
味のときは守備を固めてカウンター狙いにいたり、比較的弱い相手の場合は積極的に点を取りにいたりするよ  
うに、株式相場の動向に合わせてポートフォリオを変化させていきます。

現在、ひふみ投信は総資産に対して約90%の株式組入れを行っており、10%程度の現金を保有しております。  
今後はまず日経平均株価1万円水準をターゲットとして、株式と現金の比率を調整して運用しようと考えています。  
現在の株式の内訳については、為替変動の影響をなるべく受けにくいようなポートフォリオにするため内需関連企  
業と外需関連企業へバランスよく投資していますが、今後は状況を見極めながら後者の割合を高めることも視野に  
いれています。

(ひふみ投信 運用責任者 藤野英人)

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

# ひふみ投信の基準価額について

2010年6月30日時点の基準価額

1万口当り 11,459円

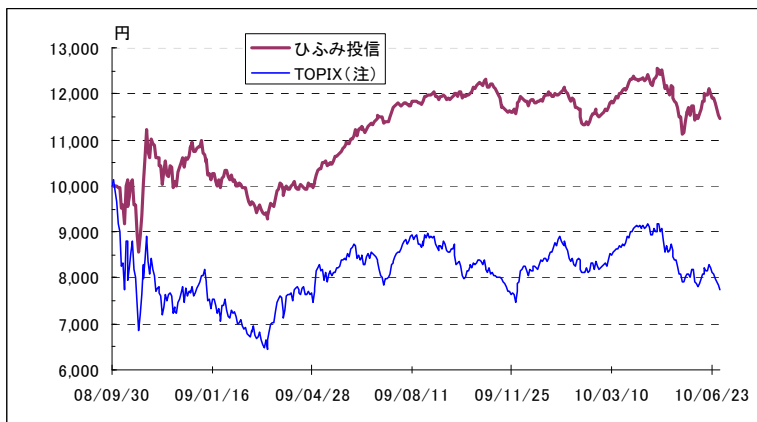
(基準価額とは「ひふみ投信」の値段の事です)

## ■ 運用成績について

| 基準価額のあゆみ<br>[騰落率] |            | TOPIX騰落率    |
|-------------------|------------|-------------|
| 過去1ヵ月             | -2.03%     | -4.43%      |
| 過去3ヵ月             | -7.04%     | -14.04%     |
| 過去6ヵ月             | -4.25%     | -7.29%      |
| 過去1年              | 0.79%      | -9.50%      |
| 設定来               | 14.59%(※1) | -22.62%(※2) |

※1 設定来の基準価額の騰落率は、当初募集価額(10,000円)から2010年6月30日までににおける数値です。  
 ※2 設定来のTOPIX騰落率は、当初設定日前日である2008年9月30日から2010年6月30日までににおける数値です。

## ■ 基準価額の推移



(注) TOPIXは、当初設定日前日である2008年9月30日の値(10874.1)を10,000として指数化しています。  
 ※基準価額は、信託報酬(年1.029%(税抜年0.980%))を控除した後の数値です。

TOPIX(東証株価指数)は当ファンドのベンチマーク(運用する際に目標とする基準)ではありませんが、参考として記載しています。  
 TOPIXとは・・・東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額(株数×1株当り時価)を指数化したものです。日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。

| 支払い済分配金         |    |
|-----------------|----|
| 第1期(2009年9月30日) | 0円 |
| 設定来合計           | 0円 |

ひふみ投信は分配金再投資専用の投資信託です。

# ひふみ投信の資産内容について (2010年6月30日時点)

## ■ 資産の内訳

|            |              |
|------------|--------------|
| 純資産総額      | 5.19億円       |
| うち 株式      | 89.58%       |
| うち 預金その他   | 10.42%       |
| 受益権総口数 (※) | 453,332,369口 |

| 国別の割合 |      |
|-------|------|
| 日本株式  | 100% |
| 海外株式  | 0%   |

(※・・・「ひふみ投信」をお持ちのお客様の保有口数合計です)

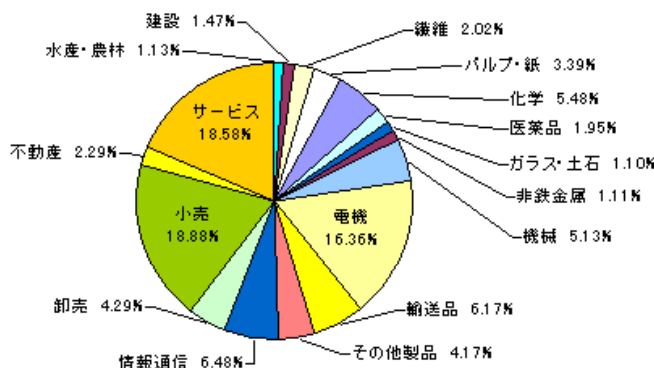
## ■ 組入比率の高い銘柄

(組入銘柄数:47銘柄)

| 銘柄コード | 銘柄名              | 業種    | 比率    |
|-------|------------------|-------|-------|
| 1     | 9793 ダイセキ        | サービス  | 3.21% |
| 2     | 9983 ファーストリテイリング | 小売    | 3.12% |
| 3     | 6767 ミツミ電機       | 電機    | 3.12% |
| 4     | 5949 ユニプレス       | 輸送品   | 3.12% |
| 5     | 4755 楽天          | サービス  | 3.08% |
| 6     | 3951 朝日印刷        | パルプ・紙 | 3.04% |
| 7     | 8113 ユニ・チャーム     | 化学    | 2.90% |
| 8     | 6941 山一電機        | 電機    | 2.89% |
| 9     | 6967 新光電気工業      | 電機    | 2.70% |
| 10    | 4751 サイバーエージェント  | サービス  | 2.67% |

★組入比率は、株式・預金その他を含めた「純資産総額」に対する割合です。

## ■ 組入銘柄の業種比率



(注)業種比率は、「株式資産」を100として、それに対する割合です。

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。  
 ・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。  
 ・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客さまご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

◆「ひふみ投信」の概要について ※詳しくは投資信託説明書(目論見書)をご確認ください

|       |   |   |
|-------|---|---|
| 商品分類  | 追加型投信／内外／株式   |   |
| 当初設定日 | 平成20年10月1日  |   |
| 信託期間  | 無期限   |   |
| 決算    | 毎年9月30日(休業日の場合、翌営業日)  |   |
| 収益の分配 | 決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。  |   |
| お申込み  | お申込単位   | 10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。<br>なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。 |
|       | お申込価額   | ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。                                    |
|       | お申込受付日時   | 当社営業日の9時～15時までとなります。  |
| 途中換金  | 途中換金(解約)単位  | 1口以上または1円以上   |
|       | 解約価額  | 「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。                                     |
|       | 受付日時  | 当社営業日の15時までとなります。<br>解約のご請求は、お電話による受け付けのみとなります。               |
| 課税関係  | 収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の差益に対して課税されます。<br>※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。 |   |

◆「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。その他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

◆お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用：ありません

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。

なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用：次のとおりです

|        |  |
|--------|--|
| 信託報酬   | 信託財産の純資産総額に対して年1.029%(税抜年0.980%)   |
| 監査費用   | 信託財産の純資産総額に対して年0.00525%(税抜年0.005%)   |
| その他の費用 | 組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税)<br>先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用<br>租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など |

※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

～お問い合わせ先～

コミュニケーション・センター 電話： 03-6266-0123 (平日9時～17時) メール：[cc@rheos.jp](mailto:cc@rheos.jp)

・本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

・本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

・本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

・投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。